

図書館における非正規職員の意識調査：直営/指定 管理の異動を軸としたインタビューを通じて

著者	平山 陽菜, 佐藤 翔, 山下 聡子, 岡部 晋典
著者別名	HIRAYAMA Haruna, SATO Sho, OKABE Yukinori
内容記述	第11回情報メディア学会研究大会 2012年7月7日 筑波大学 東京キャンパス 文京校舎
雑誌名	第11回情報メディア学会研究大会発表資料
ページ	32-36
発行年	2012-07-07
URL	http://hdl.handle.net/2241/117385

図書館における非正規職員の意識調査： 直営/指定管理の異動を軸としたインタビューを通じて

The interview of contract workers in libraries: What changed before and after the implementation of the designated administrator system

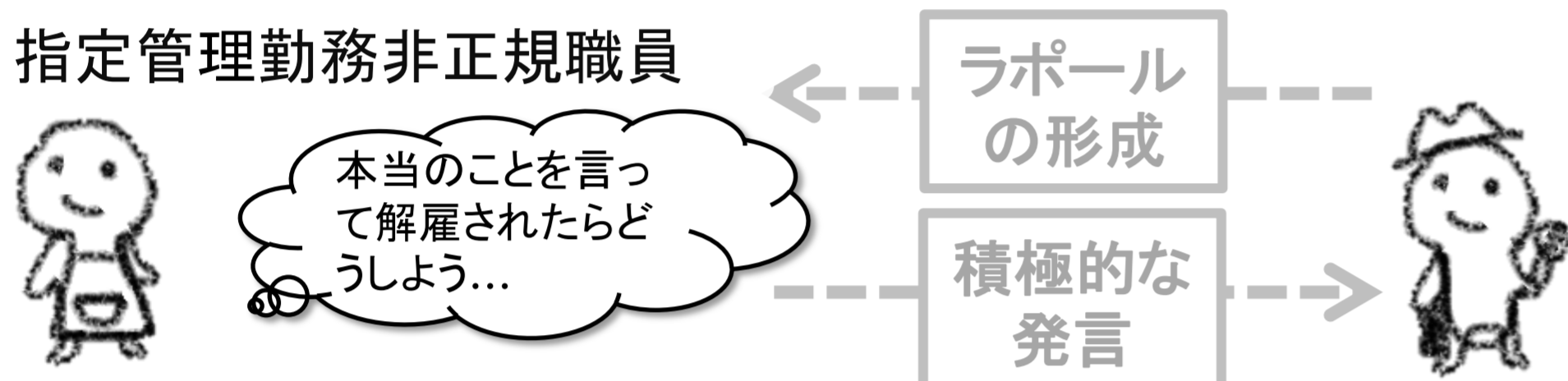
平山陽菜*, 佐藤翔*, 山下聡子**, 岡部晋典***
HIRAYAMA Haruna, SATO Sho, YAMASHITA Satoko, OKABE Yukinori

研究背景と目的

背景 | 立場の違いによって異なる主張が展開される



本研究の対象



調査方法 | 調査対象は「インタビュー結果」参照

- インタビュー時間 | 1時間30分
- 実施日時 | 2012年2月17日
- インタビュー側の人数 | 2名で実施

先行研究

- 平山[2011]^{6), 7)} | 職員の意識には触れられていない
- 山口ら[2007]⁸⁾ | 指定管理者制度や実務内容には触れられず
- 兵庫県播磨町の事例[2007]⁹⁾ | 肯定的な評価を得ているが、雇用関係などの利害関係から離れた見解であるかは必ずしも明らかでない

本研究では利害関係を離れて指定管理者制度の実態を**職員の意識の面**から明らかにする

結論

地方公共団体直営

指定管理者



負担は増えたけどやりがいがある

指定管理者制度の方が良かった

同じ非正規職員という立場の下であれば

自治体直営より**指定管理者制度導入館**の雇用を希望

- 作業の量や質の面ではむしろ負担は増加している
- 自己研鑽の機会増加や裁量拡大の魅力が大きい

運営形態やサービス内容だけでなく

非正規職員の環境に着目して指定管理者制度の導入/非導入を考慮する必要がある

今後の課題

- 範囲を拡大した追加調査
- 労働環境の問題構造の分析/検討
 - やりがいは増しても待遇は変わらず
 - 作業量は増大: 客観的な労働環境は悪化
- 地方公共団体/指定管理受託者の置かれた状況の分析
 - 図書館以外の非正規雇用に関する議論との比較^{*1}
 - 単純な指定管理批判に陥らない検討へ

脚注

*1例えば非正規雇用と正規雇用間の格差に関しては山田[2004]¹⁰⁾、「やりがい」によって起こる働き過ぎについては本田[2007]等の議論が挙げられる¹¹⁾。

インタビュー結果

調査対象

- | | |
|--|--|
| <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> 司書資格有り 図書館員経験5年 自治体直営の非正規職員→3年目から指定管理者制度 | <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> 司書資格有り 図書館員経験2年 別業種を退職し指定管理者制度導入後に就職 |
|--|--|

● 待遇とやりがいについて

A| 給料が少し安くても今の立場は大好き。その代わり大変。

B| やりがいはすごくある、後は給料ちよっとでもあがったら…。

B| 8時間にしてほしいって1年前から言ってるけど、予算の兼ね合いでしてもらえない。今の勤務時間だときついんですよ。

- 両者共にやりがいは強く感じている
- 一方期待する対価を得るには至っていない

● 図書館サービスについて

A| 自由度が広がった。
図書館だよりを出したいと提案していたんですけど、昔は駄目だった。指定管理になってから出せるようになった。

- 図書館サービス提供の自由度が高まる
- 自発的な提案が受け入れられるようになる

● 研修環境について

A| 直営の非常勤は正社員の補佐であって、主体性はないから研修は必要ないと思われていた。
指定管理は非正規職員が主体なので、研修にも参加でき、オンライン研修も受講できる

- 研修環境は大幅に改善される
- 能力を高められる環境がモチベーションの向上へ

<参考文献>

[1] 日本図書館協会. 公立図書館の指定管理者制度について. <http://www.jla.or.jp/demand/tabid/78/Default.aspx?itemid=531>. (参照2012-06-05).
[2] 竹田芳則. 堺市立図書館の指定管理者制度導入構想をめぐって. 図書館雑誌. 2005, vol.99, no.4, p.228-229.
[3] 柳与志夫. 公共図書館の変革: 新千代田図書館の試み. 情報管理. 2007, vol.50, no.8, p.492-500.
[4] 田中宏樹. 指定管理者制度と公立図書館: 制度面からみる指定管理者制度の問題点と可能性. 東京大学, 2009. 修士論文.
[5] 安藤友張. 公立図書館経営における指定管理者制度導入に関する現状調査. 日本図書館情報学会誌. 2008, vol.54, no.4, p.253-269.

[6] 平山陽菜. 図書館で働く非正規職員の実態調査. 2011年日本図書館情報学会春季研究会発表要綱. 2011, p.3-6.
[7] 平山陽菜. 図書館で働く非正規職員の求人情報調査. 第59回日本図書館情報学会研究大会発表要綱. 2011, p.9-12.
[8] 山口真也. 與儀夏美. 非正規職員がみた指定管理者制度: 沖縄県公共図書館における雇用問題. 文化情報学研究. 2007, vol.6, p.125-148.
[9] 図書館総合研究所編集: 新谷良文, 豊田高広, 三村敦美執筆. 市場化の時代を生き抜く図書館: 指定管理者制度による図書館経営とその評価. 時事通信出版局, 2007, 251p.
[10] 山田昌弘. 希望格差社会: 「負け組」の絶望感が日本を引き裂く. 筑摩書房, 2004, 254p.
[11] 本田由紀. 軋む社会: 教育・仕事・若者の現在. 双風舎, 2008, 255p.